公共交通キャッシュレス決済環境構築費助成

交通企画課

資料　都-1

■ くまモンのICカードシステムは維持しつつ、全国交通系ICカードの代わりにクレジットカード決済とQRコード読取端末を導入する費用について、多様な決済手段に対応するなど、利用者の利便性向上に伴う公益性の観点から、県と協調補助する。

1．背景

- 県内の路線バス及び熊本電鉄では、平成２７年４月から「熊本地域振興ＩＣカード」（通称：くまモンのＩＣカード）の運用を開始し、平成２８年３月から、全国交通系ICカードの運用を開始。
- 令和7年3月末に保守契約が満了となる全国交通系ICカードに関する決済機器の更新が必要。

○　**機器保守期限の到来によるサービス検討**

- 交通事業者主体で関係各社と利便性・経済性・将来性の観点で検討を開始。

① 利用状況：くまモンのICカードが約５割、全国交通系ICカードが約２割、現金約３割（令和５年度実績）

② 全国公共交通機関においてインバウンド対応を視野にクレジットカードによるタッチ決済の導入が進んでいる。（令和６年３月末時点　112社）

③ 現在と同一環境を維持するためには12.1億円が必要であるが、新たに導入する決済機器は6.7億円で更新が可能。

全国的に普及期にあるクレジットカードのタッチ決済と、地域の独自性のある施策を盛り込めるくまモンのICカードを決済手段とする新端末を導入する。

懸念事項

✓ **全国交通系ICカード利用中の皆様のスムーズな切替**

➢ 新たな決済手段による利便性を実感いただけるよう、円滑な転換に向けた周知の徹底や丁寧な説明を行っていく。

2．事業費

○総事業費：674,178千円（6月補正予算計上額：112,363千円）

○負担割合：国1/3、交通事業者1/3 、県1/6、市1/6

3．イメージ図

＜現状＞

＜令和７年４月以降＞

4．クレジットカードによる決済

（乗車時）
乗降口に設置された端末にスマートフォンやクレジットカードをタッチ

（降車時）
運賃箱に設置された端末にスマートフォンやクレジットカードをタッチ

※このマーク が付いたクレジットカードのみ利用可

5．今後のスケジュール

○ **令和６年12月中旬頃**　全国交通系ICカード利用停止・機器入替開始

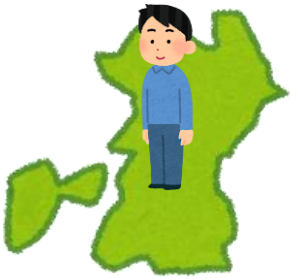
○ **令和７年４月**　クレジットカード・QRコード利用開始

令和7年4月以降

バス・電鉄電車の運賃支払い方法が変わります！

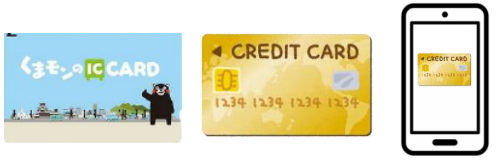
媒体	現在	今後
カードを使用している方	全国交通系ICカード	NEW くまモンICカード　 クレジットカード
	くまモンICカード	**そのまま利用可** ※「おでかけIC」・「共通定期券」も利用可
スマホを使用している方	スマホ内蔵型　交通系（Suica,PASMO等）	NEW クレジットカード（スマホ内蔵型）　NEW くまモン！Pay
	現状は無い	バス・電車共通 NEW 企画乗車券面のQRコード化（QRコード認証） ※QRコードは「デンソーウェーブ社」登録商標です

▼運賃の支払手段（利用者別）



熊本**県内**に
お住いの方

市内（県内）を移動するとき



利用可

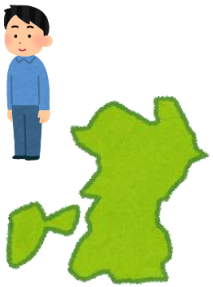
・くまモンのICカード
（共通定期券、おでかけIC含む）
・クレジットカード
（スマホ内蔵型も含む）

県外に移動するとき

利用可

・クレジットカード
（スマホ内蔵型も含む）
・全国交通系ICカード
・スマホ内蔵型　交通系

スマホ内蔵型の決済手段を複数用意すると**スマホ一つでどこでも利用可能に！**



熊本**県外**に
お住いの方

熊本県外から来る方

クレジットカード（スマホ内蔵型）も含む

✓クレジットカードを持っていない・持てない方については、「プリペイドカード」等の手段が存在

⇒特に代替策の用意、丁寧な周知が必要（今後検討）

海外から来る方

クレジットカード（スマホ内蔵型）も含む

✓国外では、運賃支払いツールとして、クレジットカードが普及。
✓自国と変わらないツールで決済が可能